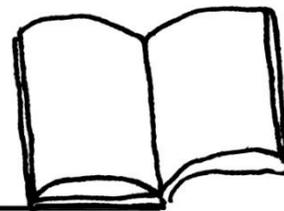




# 敬 和

R6. 11. 20 発行



11月2日(土)に、人権オープンスクールが行われました。1年生は「上中の子らに幸あれ」、2年生は「平和学習を通して人権を考える」、3年生は「就職面接における差別選考」をテーマに学習してきました。授業で学んだたくさんの知識、修学旅行や体験活動など経験から得た考えや伝えたい思い、そして今の自分にできることや、これから行動したいことについて、一人一人がしっかり考え、積極的に発表をすることができました。また、友達の意見をしっかり聴いて、自分の考えと比較し、考えを深めることができました。

1年生の感想を紹介します。

たんぼぼコーラスさんと一緒に「上中の子らに幸あれ」と「Believe」を歌いました。私は人前で歌うのが苦手なので歌えるか不安でしたが、「差別は絶対ダメ」という思いがあり、歌えました。一生懸命みんなと練習してきて本番に発揮できたから嬉しかったです。歌を歌うと楽しくて、歌詞の意味に思いを込めながら歌うことができました。



人権集会を通して私は心を動かされました。人権学習を振り返っての感想を発表していた友達の意見を聞いて、普段話をしているときとは違う一面を見ることができ、「こんなふうにいるんだなあ。」と思いました。歌を歌っているときに、三年生の先輩も歌ってくれていました。「上中は仲がいいなあ。」と思いました。

私たちの学年では、「差別がなくなってほしい。」という気持ちを大きくして歌を歌いました。その気持ちが聴いてくれている人に伝わったような気がしてすごくうれしかったです。2年生は迫力のある太鼓とともに、修学旅行で学んだ沖縄の戦争について、3年生は一人一人が人権宣言を発表していて、とても考えることや学ぶことができました。

1年生の発表はずっと長い時間立っていたけれど、ふらつくことなく、みんなが必死で歌っていた。2年生の発表は修学旅行で教わったことを発表していた。とても分かりやすく説明していた。3年生の発表は一人一人が自分の意見を言っていた。どの学年も、一人一人がみんなのために一致団結して最後の最後までやりきって良い雰囲気だった。



みんなで「上中の子らに幸あれ」と「Believe」を歌いました。小学校の時は八人しかいなかったけど、今日はたくさんみんなの声が重なってとてもいい歌声だなと歌いながら思いました。中学校になって、いろんな子と出会って、たくさん新しい友達ができました。これは、当たり前のように、全然当たり前ではない、とてもありがたいことだと改めて分かりました。これからも日々の当たり前のことに感謝しながら生きていきたいです。

2年生の感想を紹介します。

1年生の発表や歌を聴いて、昔からの身分の差別や今でも残っている男女差別、部落差別について深く考えさせられました。2年生の発表では、沖縄戦について考えることをしっかり伝えることができてよかったです。発表の練習でも、沖縄戦について班で話し合い、伝えたいことを考えることによって、沖縄戦の歴史などに対する自分の思いよりも明確になりました。3年生の発表では、一人一人が人権について考えたことを発表していて私も人権問題について責任をもって考えて伝えていきたいと思いました。

1年生の発表を聞いて、改めて部落差別はいけないことだと思いました。部落差別をする理由がないし、絶対にしてはいけないことだと分かりました。3年生は、三年間の人権学習を通して発表していました。「自分以下を求め心」や「平和学習」のことがよく分かりました。自分以下を求め心はもたないほうがいいことや、戦争は絶対に起こさないこと、今の平和を大切にすることなどを学びました。



一年生の人権作文は一人一人が差別に対して書いてあり、その内容に共感しました。自分では気づけなかった視点がたくさんありました。三年生の授業では、自分以下を求める心や普段の生活について言っていることが、私はとても心に響きました。二年生の発表では緊張しましたが、完璧にできたのでとても嬉しいです。これからも人権を大切に生活していきます。



一年生の発表は歌がすごかったです。コーラスの人達と歌っていて、歌詞に思いも込められていて気持ちが伝わってきました。自分たちの発表では緊張したけれど、練習と同じようにできたのでよかったです。上中太鼓は毎日放課後練習して頑張っていたので、本番すごく迫力があってすごかったです。最後の三年生の発表は一人一人が人権のことについて考えて宣言していて、全員が堂々と宣言してさすがだなと思いました。発表を通して、人権の事をたくさん知れたし、新しい考え方も分かったので、これからも生かしていきたいです。

私たちの発表で、平和への願いを伝えることができました。また、上八万中学校の伝統の上中太鼓の演奏も成功させることができ、貴重な体験をすることができました。三年生の発表では、三年間の人権学習を通して考えたことを聞き、私も三年生になったら自分の考えを伝えられるよう、これからも人権についての学習にはげみたいと感じました。



三年生の感想を紹介します。

私たちの発表で、今までに学んだ差別や戦争、いじめなどについて一人一人が人権宣言をしました。全員の発表を聞きながら、差別や戦争などの残酷さを思い出しました。一年生の発表とコーラスはとても心に響くものでした。初めて聴いた曲は、とても素敵な歌だなと心から思えました。二年生の平和学習の発表は、沖縄戦で使用されたガマや病院など、心を締めつけるものでした。

一年生の発表を聞いて、部落差別でその場所に生まれてきた人が悪いのではなく、差別をする人が悪いんだという意見に共感しました。他にも職業の選択ができないのはおかしいと私も感じました。二年生の発表で、ひめゆり学徒隊の「私たちと同じ年の子が亡くなった」と聞いて悲しくなりました。

三年生は練習時間が短かった中でよく発表できたと思います。1時間だけ練習してすぐに本番が始まったため、緊張で足が震えました。前の人の人権宣言を発表する中、自分の人権宣言の内容を忘れそうなこともありましたが、必死に思いだして、いい姿勢で、表現一つ変えずに発表することができました。ですが、私たちの人権学習が終わることは決してなく、大事なことは、今日発表した人権宣言を守って生きていくことだと思います。三年間の学習を忘れずに、これからも生きていきたいです。



一年生の合唱が一番印象に残っています。歌の中の歌詞や思いが一年生の声を通して聴こえてきて、とても感動しました。二年生の上中太鼓では、力強い人権に対しての思いが伝わってきました。私たちの発表では、一人一人が人権宣言をしました。いろいろなテーマがある中で、自分自身が訴えたい宣言をしっかりと伝えられたと思います。各学年の発表からも、これまでの学習で学んだことや知ったことなど、たくさんの人権について発表し、意見を共有することは大切だと思います。今回の人権集会を忘れず、これからも人権について、みんなで考えていきたいです。

一年生の歌声がすごかった。恥ずかしがらず歌っている人が多かったし、上手だった。二年生は僕も去年した上中太鼓で、リズムや回数などを覚えていたので、一緒に演奏しているみたいで楽しかったです。三年生の発表もみんな真面目に堂々とできていました。自分も原稿を見ずに発表できてうれしかったです。人権集会を通して今までやってきたたくさんの人権学習を思い出ことができ、これからの自分の発言や行動が誰かを傷つけていないか、改めて考えることができる時間になりました。



